



# 子育ての悩みを抱える方に81日間で6,000回以上の 情報提供

## ICTを用いた「孤」育て予防の可能性を検証

子ども虐待防止オレンジリボン運動を担う認定NPO法人児童虐待防止全国ネットワークは、NPO法人OVAの協力のもと、ウェブを通じた子育ての悩みへの支援情報提供の実証調査を行いました。子育ての悩みについて検索する方を対象に、オレンジリボンの支援情報サイトにつなげるウェブ広告を掲載し、6,000人以上が広告を経由して弊団体が運営するオレンジリボンのサイトを訪れました。また、サイト上から実際の支援情報を取得された回数は800回以上に及びました。

本試験的取り組みを通じて、ネットを活用した「孤」育て予防の可能性が確認されました。

### 背景1：児童虐待の現状

児童相談所における相談対応件数は1990年より一貫して増加を続けており、2017年度は13万件を超え、虐待によって77人が死亡しています。※1

児童虐待は依然として重要な社会課題であり、予防に向けた関心も高まっています。

### 背景2：ICTの普及

日本ではインターネットの普及率は13歳から59歳で90%を超えており、主要インフラとなっています。※2 ネット検索の利用をしてみると、日本人の50%以上、18歳～34歳に限ると全人口の80%以上が使用※3しているなど、インターネットは生活インフラとして、情報集めの主な手段として普及しています。



図表2：トータルデジタル Brand別 性年代別リーチ TOP5 2018年5月

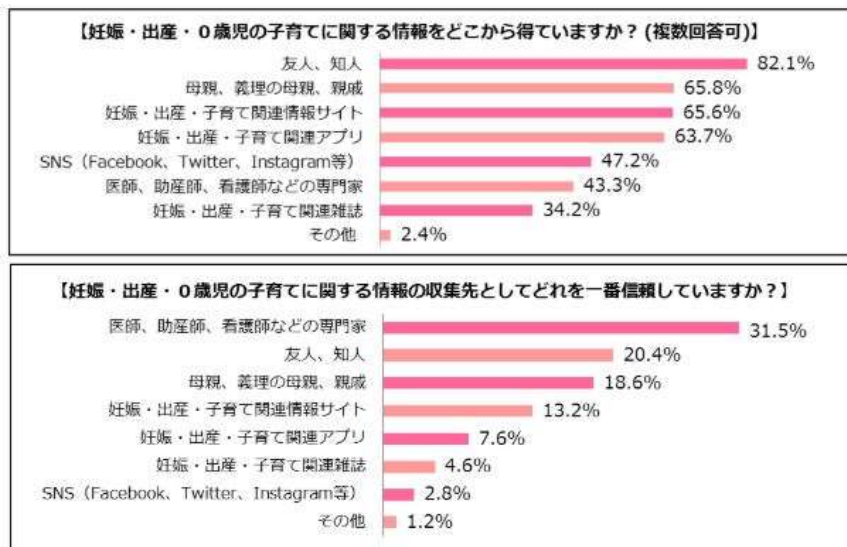
男性：18-34歳		女性：18-34歳	
Brand	リーチ	Brand	リーチ
Google	84%	Google	87%
YouTube	79%	Yahoo Japan	84%
Yahoo Japan	79%	LINE	84%
LINE	78%	YouTube	81%
Twitter	68%	Twitter	70%

Source: Nielsen Digital Content Ratings  
 ※Brandレベルを使用  
 ※リーチは日本の18歳～34歳の人口をベースに算出

### 背景3：「孤」育てとネット検索の関連

児童虐待のリスク要因として、育児に対する不安やストレス、親族や地域社会から孤立した家庭などの要因が関連していると考えられています。※4

子育てに関する情報をウェブで得る子育て者が60%以上を占める反面、ウェブの情報を信頼する人が13%にとどまるなど、多くの子育て者がネット上で情報収集や情報交換を行いながら、適切な情報にアクセスできていないことが示唆されます。※5



## 実施内容

今回、弊団体はNPO法人OVAの協力のもと、以下の4つの取り組みを実施し、子育ての悩みを持つ方にウェブ上から支援情報を提供し、分析しました。

### 1. 検索連動広告の掲載

「子育て つらい」「育児 悩み」など、子育ての悩みに関する語句を事前に61リストアップしました。検索エンジンGoogle上で、これらの語句を検索した方のみを図のような広告を表示しました。



## 2. オレンジリボンサイトにボタン設置

広告をクリックすると弊団体オレンジリボンのサイトに移動するように設定しました。サイト上には、地域の子育て支援機関を検索できるボタンと、189に電話を掛けられるボタンを設置し、子育てに悩んで広告をクリックした方が、サイト上から必要な情報資源へアクセスできるシステムを設計しました。



## 3. 広告のクリックとサイト上のボタンクリックを測定

ウェブ解析ツールを使用して、以下の実数を測定しました。

- 広告の表示回数
- 広告のクリック回数
- 広告を経由してサイト上からボタンをクリックした回数

これら測定を行い、子育ての悩みを抱えた方が、ネット上で情報を見つけて行動を起こした割合を把握しました。

## 実施結果

広告掲載は、2018年10月1日～12月31日（11月1日～11月11日を除く）81日間で実施した。広告は合計で153,982回表示され、6,443回クリックされました。同一ユーザーによる重複クリックを除くと、5,084名のユーザーが広告をクリックしています。広告には、221,937円を使用しました。

広告を経由した6,443回の訪問の内、サイト上で「子育て相談できる機関を探す」ボタンのクリックが695回、「189へ電話する」ボタンが185回クリックされました。これらのボタンクリックのいずれかを行った方は、広告経由の訪問者（6,443クリック）の約7人に1人（14%）の結果でした。

広告クリックにつながった検索語句の上位5キーワードは以下の通りです。

検索語句	クリック数	広告表示回数	クリック率
子育て 悩み	1,506	35,285	4.27%

子育ての 悩み	1,491	32,011	4.66%
育児 悩み	1,149	28,524	4.03%
育児 うつ	340	7,934	4.29%
子育て イライラ	190	6,279	3.03%

なお、広告クリックにつながった他の検索語句には次のようなものもあり、迅速なサポートの必要性が示唆されています。

- 「子育て 死にたい」128クリック
- 「育児 放棄 相談」65クリック
- 「子育て 限界 助けて」13クリック
- 「育児 暴力」5クリック
- 「育児 助けてほしい」2クリック

## 考察

本試験的取り組みによって、ネット上で子育ての悩みを検索する方に、ピンポイントで支援情報を提供できる可能性が示唆されました。

周囲に相談できる人がいない、信頼できる情報源がない、あるいは支援機関等を知らない子育て者にとって、ネット検索は情報収集の主流であると考えられます。検索への広告掲載によって、困りごとを抱えた方にピンポイントで情報を提供し、現実にある支援機関へのアクセスを促すことの必要性および可能性が示唆されました。

一方で、本取り組みが実施期間や予算に限りのある試験的なものでありました。そのため、広告の表示回数に限りがあったこと、サイト上のクリックから実際の支援へつながったかの検証ができなかったこと、更には広告をクリックした方の虐待リスクが客観的に把握できなかったなどの課題が残りました。

## 今後に向けて

ネットによるアプローチによって、孤立しがちな子育てに悩む保護者への支援の有効性が確認されたところ、今回の取り組みにおいて得られた結果についての精査、また課題として挙げられている事項の検証などを進めてまいります。

## 認定NPO法人児童虐待防止全国ネットワークについて

- 団体名  
認定NPO法人 児童虐待防止全国ネットワーク
- 法人認証日  
2007年8月27日
- 活動内容

子ども虐待防止シンポジウム開催事業  
子ども虐待防止啓発活動（子ども虐待防止オレンジリボン運動）事業  
目的を同じくする他の組織との連携事業

- 代表者  
理事長 吉田恒雄
- 役員および職員等数  
役員 7名 委員20名 事務局スタッフ3名
- 支援企業・団体数 757 サポーター 18,574名（2019年4月1日現在）

## NPO法人OVAについて

- 団体名  
特定非営利活動法人OVA（オーヴァ）
- 認証  
2014年7月18日（2013年6月30日設立）
- 活動内容  
若者自殺予防を目的としたオンライン相談事業並びに自殺対策に係る政策提言、人材育成。  
社会福祉の促進を目的としたコンサルティング事業並びに、人材育成、社会啓発。
- 代表者  
代表理事 伊藤次郎
- 職員数  
9名（内：常勤3名・非常勤6名）
- 予算規模  
約2,200万円（2018年度見込）

※全て2019年4月時点

NPO法人OVAは2013年より、検索連動広告を活用した自殺対策を進めています。  
自殺に関する語句を検索するハイリスク者のみに情報を提供し、オンライン相談を経て地域の社会資源を用いた生活課題解決を世界で初めて実施しました。現在このモデルは自殺対策の一つのスタンダードになりつつあります。

2017年度より、より幅広い分野でICTを活用した社会福祉の提供に取り組んでいます。  
本取り組みは、児童虐待防止へのICT活用の可能性を検証するために行われました。

## 参照

### ※1 厚生労働省

子ども虐待による死亡事例等の検証結果等について（第14次報告）の概要 <https://www.mhlw.go.jp/content/11900000/000362706.pdf>

### ※2 総務省

平成29年版情報通信白書

<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h29/pdf/index.html>

※3 ニールセンデジタル株式会社

ニールセン デジタルコンテンツ視聴率 (Nielsen Digital Content Ratings)

[https://www.netratings.co.jp/news\\_release/2018/07/Newsrelease20180726.html](https://www.netratings.co.jp/news_release/2018/07/Newsrelease20180726.html)

※4 厚生労働省

子ども虐待対応の手引き 平成19年1月23日雇児発第0123003号厚生労働省雇用均等・児童家庭局総務課長通知

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/dv12/02.html>

※5 株式会社ベビーカレンダー

「子育てにおけるSNS利用」に関する意識調査

<https://baby-calendar.jp/smilenews/detail/7762>